

「統合後のもみじ台中学校についてのアンケート調査」

結果について

— 学校規模適正化の効果検証 —



令和5年3月

札幌市教育委員会

目次

- 1 調査の概要・・・ 1ページ
- 2 アンケート調査の結果・・・ 5ページ
- 3 参考資料・・・ 40ページ



1

調査の概要



1 背景

札幌市では、少子化の影響により、児童生徒数の減少とともに1校あたりの学級数が減少する「学校の小規模化」が進んでいます。

学校の小規模化が進むと、教育面や学校運営面において様々な課題が生じる可能性があることから、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針※₁」に基づき、学校規模適正化の取組を進めてきました。

そのうち、もみじ台南中学校、もみじ台中学校を対象としたもみじ台地域では、令和2年12月に「学校規模適正化検討委員会」が発足され、協議した結果をとりまとめた意見書を教育委員会に提出いただきました。

これを受けて、札幌市教育委員会は令和4年4月にもみじ台中学校ともみじ台南中学校を統合するに至りました。

2 目的

もみじ台中学校ともみじ台南中学校が統合して約9か月が経過したことから、学校統合に伴う子どもたちの様子や変化などを把握し、学校規模適正化の効果を検証するとともに、配慮すべき点等、今後の学校規模適正化の取組の参考とすることを目的としています。

3 対象

- (1) もみじ台中学校に在籍する2～3年生の生徒
- (2) (1)の保護者
- (3) もみじ台中学校に勤務する全教職員

4 調査実施時期

令和4年(2022年)12月

5 調査票

参考資料(40ページ)のとおり

6 実施方法

学校を通じて、調査票を配布・回収し、教育委員会で集計及び検証を実施

※1【札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針】 学校が小規模化することで生じる課題に対応するために、保護者、有識者、公募委員などで構成される「札幌市立小中学校適正配置検討懇談会」の答申に基づき、平成19年12月に策定。その後、児童生徒数の更なる減少など、学校を取り巻く情勢の変化を鑑み「札幌市立小中学校適正配置審議会」からの答申を踏まえて平成30年4月に改定。

7 回答数等

生徒分：171 枚（回答率 82.2%）

保護者分：158 枚（回答率 76.0%）

教職員分： 30 枚（回答率 93.8%）

8 集計

- 集計及び検証は生徒、保護者、教職員に分けて行っています。
- 生徒、保護者ともに、質問3以降は全体の結果と併せて、学年比較のグラフも参考として掲載しています。
- 集計結果（割合）は、小数第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100.0にならない場合があります。
- 特段の注意書きがない場合、設問に対して無回答の調査票は集計に含めていません。
- 各質問の自由記載は、原則として原文のまま掲載しています。
- 各質問の自由記載は、同様の意見を集約して記載しています。
- 各質問の自由記載のうち、個人等に関するご意見は、相手方が特定できないよう表現を変えています。

～アンケート調査の実施にあたって～

新型コロナウイルス感染予防対策の中、子どもたちが楽しく生き生きと過ごせる環境を整えながら学校運営に努めているところですが、行事が縮小されたり、従来とは異なる形で実施されたりするなど、本来の学校の姿とは異なる状況の中でのアンケート調査となっております。

そのため、本アンケートの設問の中には、答えることが難しい内容も一部ありますが可能な範囲で回答にご協力をいただいているものです。